

## 平成29年度 外国人招へい研究者(短期・第1回) 採用者一覧

※採用通知文書は1月中旬に発送いたします。平成29年1月中旬に届かない場合は、日本学術振興会人物交流課までご連絡下さい。

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
RUBAN Alexander 英国	皆川 純 自然科学・教授	植物分子・生理科学	光化学系を保護する熱散逸機構の研究	2017/05/15～2017/06/15 (32日間)
ANTONYUK Svetlana Vladimirovna 英国	當舎 武彦 理研・専任研究員	構造生物化学	酸化還元酵素の新規無損傷構造解析手法の開発	2017/04/01～2017/04/16 (16日間)
MORELLI Luis Guillermo アルゼンチン	瓜生 耕一郎 金沢大・助教	発生生物学	発生組織における細胞の情報処理	2017/09/11～2017/10/03 (23日間)
LOREAU Michel ベルギー	谷内 茂雄 京大・准教授	生態・環境	理論生態学の主要な課題の検討:生物多様性から持続可能性まで	2017/10/14～2017/11/04 (22日間)
AGARWAL Vipin インド	西山 裕介 理研・ユニットリーダー	構造生物化学	水素核間選択的リカップリング超高速MAS固体NMR法によるタンパク質の構造解析	2017/05/07～2017/06/03 (28日間)
CASTELLANO Michael Angelo 米国	保坂 健太郎 国立科学博物館・研究主幹	生物多様性・分類	日本における地下生菌類の多様性および分類	2017/10/16～2017/12/14 (60日間)
TORCHIN Mark Erik 米国	三浦 収 高知大・准教授	生態・環境	宿主と寄生虫の共多様化機構の解明	2017/08/01～2017/08/14 (14日間)
MCQUATTERS-GOLLOP Abigail 英国	稲葉 一男 筑波大・教授	生態・環境	海洋保全と政策における海洋生物学研究成果の活用	2017/07/02～2017/07/24 (23日間)